

長期戦略:テーマ 「二つのPDCAサイクルの統合 -内部質保証の確立」

提出日 2022 年 8 月 24 日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小野総合企画部長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	総合企画部
-----------------------	---------------------	---------------	-------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(10)-① 内部質保証体制の確立と運用	2019 年度	2024 年度	必要⇒【必須型】 (全学部または 全研究科での取 組みが必須)	要
<p>内容</p> <p>本学には、従来から二つの大きな PDCA サイクルが存在していた。一つは中期計画(SGU 含む)であり、もう一つは大学の自己点検・評価および各学校の学校評価である。</p> <p>両者はそれぞれの目的体系を持ちながら重複する部分が多く、業務負担の軽減の観点からも、共通の目的・目標の下で学院・大学全体を見渡した統合的な PDCA サイクルの確立が必須となっている。</p> <p>このため、本学では、2019年度から各学部／研究科、短期大学・各学校が本格的に取組を開始する「中期総合経営計画」において、その取組の成果を定期的に測定、評価、改善することを通じて、効率的・効果的なマネジメントの実現を図る。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	大学内部質保証部会と短期大学・各学校内部質保証部会の開催回数	大学内部質保証部会と短期大学・各学校内部質保証部会の開催回数		
指標2	認証評価の認証結果	認証評価の認証結果が「適合」となったか		

目標1<指標1>大学内部質保証部会と短期大学・各学校内部質保証部会の開催回数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上	大 学:年6回以上 短期大学・各学校:年5回以上
実績	合 同:4回 大 学:6回 短大・各学校:1回	合 同:4回 大 学:4回 短大・各学校:1回	合 同:4回 大 学:4回 短大・各学校:1回			

目標2<指標2>認証評価の認証結果

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	適合(大学)	適合(短大)	—	—	改善報告書提出(大学)
実績	—	適合(大学)	適格(短大)			

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
内部質保証体制の 確立と運用	策定段階	部会の設置・開催 認証評価報告書作成	部会の開催 認証評価受審	部会の開催 認証評価課題点の 改善計画の策定	部会の開催 認証評価課題点の改善	部会の開催 認証評価課題点の改善
	2023年3月 末段階	実施	実施	実施	実施	実施
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	部会の開催 認証評価課題点の 改善報告書の作成	部会の開催 自己点検報告書作成	部会の開催 認証評価報告書作成	部会の開催 認証評価受審	
	2023年3月 末段階	実施				

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	学院総合企画会議の下に「内部質保証部会」を設置し、第3期認証評価受審の検討を中心に開催した。特に、学部・研究科においては「中期計画総括シート」を、短大・各学校においては「中期計画」を作成することで、自己点検・評価／学校評価を1つのPDCAサイクルに統合させて、効率的・効果的なマネジメントの実現に向けてスタートした。
2020年度	「内部質保証部会」においては、大学の第3期認証評価受審の対応を中心に開催した。機関別認証評価受審のために、資料の準備からオンラインでの実地調査（9月）等に対応し、大学基準協会より「適合」の評価結果を受領した。なお、「改善課題」等をKGC2039のトータルレビューに組み込むことで、長期戦略等の見直しに反映させ、新たに「DX」のテーマ設定も行った。
2021年度	「内部質保証部会」では、大学の機関別認証評価において、「是正勧告」「改善課題」が付された事項について、具体的な改善策の検討を行い、2024年7月までの改善報告書の提出に向けた準備を進めた。また、聖和短期大学の機関別認証評価受審に対応し、「適格」の評価結果を受領した。KGC2039および内部質保証システムの取り組みについて、内部質保証システム及びTotal Reviewの適切性という観点から外部委員による第三者評価を受けた。委員からの評価結果を踏まえてNext Actionを設定し、内部質保証の実質化を推進した。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	学院総合企画会議の下に2つの内部質保証部会（大学と短期大学・各学校）を設け、中期計画と自己点検・評価を統合したPDCAサイクルを確立した。統合したPDCAサイクルを回すとともに、認証評価受審に向けての報告書作成とその根拠資料の収集と整理を進めている。
2020年度	大学の機関別認証評価において「適合」を得るための準備を進めている。報告書を大学基準協会に提出し、10月6日、7日の2日間の日程でリモートにて実地調査が実施される予定である。付される意見に対して、しっかりとした対応が求められている。
2021年度	大学の機関別認証評価において、「是正勧告」「改善課題」が付された事項について、具体的な改善策の検討を進めており、2024年7月を締め切りとする改善報告書の提出準備・支援を進めていく。また、聖和短期大学は、機関別認証評価の受審が予定されているため、「適合」を得るための準備を進め、付された意見に対応するための体制を整える。 KGC2039および内部質保証システムの取り組みについて、KGC2039のトータルレビューも踏まえた外部委員による第三者評価を実施した。今後、評価結果を踏まえた改善取組の検討を進め、学院全体の内部質保証の実質化を一層推進する。
2022年度	引き続き、大学の機関別認証評価において、「是正勧告」「改善課題」が付された事項への具体的な改善策検討の進捗を確認する。KGC2039の主要テーマの取組、進捗状況及び成果等の適切性の観点から、外部委員による第三者評価を実施した。今後、評価結果を踏まえた改善取組の検討を進め、学院全体の内部質保証の実質化を一層推進する。
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	—
2022 年度	—
2023 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・学院総合企画会議の下に「内部質保証部会」を設置し、第 3 期認証評価受審の検討を中心に開催した。 ・大学においては、第 3 期認証評価において「適合」を得るために対応し、評価結果が 2 月に確定するのを待っている段階である。 	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・学部・研究科、短大・各学校における中期計画とその PDCA サイクルの実質化

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	